

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

ごあいさつ

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会
会 長 岡 本 實

定時会員総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、昨冬より世界中に猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症によって、日本でも約 1 万 3 千人の方がお亡くなりになり、約 75 万人の方が罹患されましたことに対して、心よりご冥福とお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、昨今の我々の業界を取り巻く状況ですが、昨年のご挨拶にて「スイミングクラブの長い歴史の中で未曾有の危機に直面している」と申し上げましたが、一年経った今でも一向に収束の気配がございません。本来ならばこの時期、7 月からの東京オリンピック開催に期待と興奮で胸を躍らしていたはずでしたが、現在も 10 都道府県が「緊急事態宣言」下にあり、その他の地域においても戦々恐々とした日々を過ごしております。

全国各地のスイミングクラブは各自治体の要請に応じ、各クラブの判断のもと感染対策に万全を期し運営に努めております。しかしながら、3 月にクラスターが発生したのを皮切りに、残念ながら数件のクラスター事例が確認されております。比較的感染症に強いと言われるプール施設ではありますが、新型コロナウイルスの感染力は日々強いものに変化をしてきており、対策を怠ると容易に感染が起きてしまいます。ひとたびクラスターが発生しますとお客さんが離れ、経営の死活問題となるため、皆様には今まで以上に念入りな対策をお願いしたいと思います。また一方で、我々経営者は目の前にあるコロナ禍だけではなく、既に足音が聞こえつつあるアフターコロナの経済不況、現在の原油高騰、学校の水泳授業の自粛による影響など、対応策を慎重に検討し、今後に向けた経営判断をしていかなければなりません。

スイミングクラブがお客様にお越しいただいて成り立つ事業である以上、「人流抑制」は逆風に他なりません。我々はお客様や従業員を守るためにも難題に打ち勝ち前進していく必要があります。

今春からの世界のスポーツ界では松山選手のアジア人初のグリーンジャケット獲得、大谷選手の本格的二刀流での大活躍（現在ホームランダービーでトップ争い。）と日本人の奮闘ぶりには目を見張るものがあります。

我々の業界も下を向くのではなく「スイミングクラブは社会において必要不可欠な存在である。」ことを強く訴え、加盟団体の皆様方とピンチをチャンスに変えるべく、知恵を絞り共に歩を進めて参りたいと思います。

結びとなりますが、正会員、賛助会員、各支部そして多くの関係者各位のご助力により、理事として 14 年間、会長職を 2 年間拝命し無事任期を満了できますことを心より御礼申し上げます。本来ならば皆様方にお会いして直接御礼を申し上げたく思っておりましたが、このような折、書面にてご挨拶とさせていただきますことをご容赦下さい。今後、皆様方の事業並びに一般社団法人日本スイミングクラブ協会の更なる繁栄を祈念するとともに、次年度からの新役員の皆様方のご活躍を切にお願いし、定時会員総会のご挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

令和2年度実施事業

1. 主要会議

(1) 総 会

- 令和2年度定時総会 令和02年06月18日
於：「ホテルメトロポリタンエドモント」会議室
 - ・令和元年度事業報告並びに収支決算を承認
 - ・令和元年度泳力認定推進事業登録クラブを表彰（授賞式割愛）
（優秀クラブ賞98クラブ、最優秀クラブ賞130クラブ、特別賞A賞1クラブ、特別賞B賞16クラブ）
 - ・第26回全国表彰（優良指導者・優秀コーチ・功労者表彰）（授賞式割愛）
（優良指導者：金賞12名・銀賞18名・銅賞29名、優秀コーチ1名、功労者9名）
- 令和2年度臨時総会 令和03年03月11日
於：「ホテルメトロポリタンエドモント」会議室
 - ・定款一部変更案を承認

(2) 理事会

- 令和2年度第1回理事会 令和02年05月25日 於：書面決議
 - ・令和元年度事業報告並びに収支決算の承認
 - ・新規入会の承認（賛助会員1社）
 - ・令和2年度定時総会開催並びに議案に関する件の承認
 - ・第26回全国表彰者の承認
- 令和2年度臨時理事会 令和02年08月20日
於：「新大阪ワシントンホテルプラザ」会議室
 - ・「新型コロナウイルス感染防止対策」協会の基本方針の承認
 - ・新規入会の承認（賛助会員1社）
 - ・安全水泳管理者在籍施設の承認
 - ・次年度役員改選選考委員会の承認
 - ・令和2年度第2回理事会開催の承認
- 令和2年度第2回理事会 令和02年10月09日 於：「キャッスルプラザ」会議室
 - ・令和2年度中間収支状況の承認
 - ・総務委員選任（変更）の承認
 - ・新年フェスティバル表彰補填の承認
- 令和2年度第3回理事会 令和03年01月14日 於：オンライン会議
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う年会費の取り扱いについての承認
 - ・令和2年度事業計画及び予算案の検討
 - ・新規入会の承認（登録クラブ3件）
 - ・定款一部変更案の検討
 - ・令和2年度臨時総会開催並びに議案に関する件の承認
- 令和2年度第4回理事会 令和03年03月11日
於：「ホテルメトロポリタンエドモント」会議室
 - ・令和3年度事業計画及び予算案を承認
 - ・新規入会の承認（正会員1社、登録クラブ2クラブ）

(3) 決議省略理事会（電子決議）

- 令和2年度 第1回 [令和02年04月27日 承認]
 - ・新規入会の承認（登録クラブ3クラブ）
- 令和2年度 第2回 [令和02年07月01日 承認]
 - ・新規入会の承認（賛助会員1社）
- 令和2年度 第3回 [令和02年07月21日 承認]
 - ・新規入会承認（登録クラブ3クラブ）

2. 各専門委員会実施事業

* 指導力向上委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和02年04月27日開催 於：電子メール決議
- 第1回SC協・日本水泳連盟合同検定委員会 04月27日開催 於：電子メール決議
- 第1回小委員会 令和02年09月05日開催 於：えみし
- 第2回日本水泳連盟水泳教師委員会・SC協合同検定委員会 令和02年10月23日開催 於：電子メール決議
- 第2回委員会 令和02年11月16日開催 於：ワシントンホテルプラザ新大阪
- 第3回委員会 令和02年02月08日開催 於：ホテルエルシエント京都 (中止)
- 第2回小委員会 令和03年02月08日開催 於：えんてつ浜松駅前貸し会議室

(2) 実施事業

- ストレス予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和02年05月09日～10日
於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ (中止)
- 内科的疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和02年06月06日～07日 於：ビジョンセンター田町・ミミスイミングクラブ (中止)
- 全国水泳指導者特別研修会 令和02年06月21日
於：セカンパランス・スペックスイミングクラブ (令和02年10月25日に延期・開催)
- アクアダンスインストラクターのための全国研修会 令和02年07月19日開催
於：五反田貸会議室・ミミスイミングクラブ 参加者：45名
- 循環器系疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和02年09月05日～06日開催
於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ 参加者：14名
- アクアダンスインストラクター資格取得講習会 令和02年09月19日～20日
於：シュアステイプラスホテル・WREXX・スペックスイミングクラブ (中止)
- 整形外科的疾患予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和02年10月31日～11月01日開催
於：ビジョンセンター田町・ミミスイミングクラブ 参加者：53名
- 転倒・寝たきり予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和03年02月06日～07日
於：シュアステイプラスホテル・スペックスイミングクラブ (中止)
- 肥満予防改善メディカルアクアフィットネスインストラクター講習会
令和03年03月20日～21日開催
於：ビジョンセンター田町・ミミスイミングクラブ 参加者：52名
- メディカルアクアフィットネスインストラクター教本改訂版作成

* 事業企画委員会

(1) 委員会

- 第1回委員会 令和02年07月06日開催 於：オンライン会議
- 臨時委員会 令和02年07月27日開催 於：オンライン会議
- 第2回委員会 令和02年10月05日開催 於：オンライン会議
- 第3回委員会 令和03年02月03日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

- 第41回JSCAブロック対抗水泳競技大会 令和02年10月10日～11日
於：長野県運動公園総合運動場総合市民プール (中止)
- 「JSCA クイーンズランドオープン遠征」引率者会議 令和02年11月
於：SC協事務局 (中止)
- 第17回JSCA クイーンズランドオープン遠征選手団派遣 令和02年12月10日～20日
於：ブリスベンアクアティックセンター (中止)
- 第47回JSCA 新年フェスティバル水泳競技大会 令和03年01月05日～31日

- 全国 20 会場で開催 参加者：569 クラブ・個人 10,560 名
 (個人：21,535 種目・リレー：1,501 種目)
- 第 26 回 JSCA マスターズ水泳通信記録会 令和 03 年 01 月 01 日～02 月 28 日
 各加盟登録クラブで開催 参加者：121 クラブ・個人 984 名 (個人：1362 種目)
 - 第 43 回 JSCA 全国マスターズスイミングフェスティバル 令和 03 年 03 月 06 日～07 日
 於：秋葉山公園県民水泳場 (中止)
 - 日本選手権派遣研修 派遣日：令和 02 年 4 月 02 日～07 日
 於：東京アクアティクスセンター (中止)
 - ジャパンオープン派遣研修 派遣日：令和 02 年 06 月 04 日～06 月 07 日
 於：横浜国際プール (中止)
 - ジュニアオリンピックカップ派遣研修 派遣日：令和 02 年 08 月 22 日～26 日
 於：東和薬品ラクトブドーム (中止)

*** 安全水泳委員会**

(1) 委員会

- 第 1 回委員会 令和 02 年 05 月 18 日開催 於：SC 協事務局 (中止)
- 第 2 回委員会 令和 02 年 11 月 09 日開催 於：オンライン会議
- 第 3 回委員会 令和 03 年 02 月 15 日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

- 安全水泳法管理者資格取得講習会 令和 02 年 08 月 18 日～19 日開催
 於：サギヌマスイミングクラブ宮前平 (中止)
- 「JSCA プール管理責任者並びにプール衛生管理者」講習会
 - ①令和 02 年 05 月 13 日～14 日開催 於：東海 多治見美濃焼卸センター協同組合 (中止)
 - ②令和 02 年 06 月 13 日～14 日開催 於：九州 小郡市総合保健福祉センター (中止)
 - ③令和 02 年 06 月 27 日～28 日開催 於：北陸 富山県総合体育センター (中止)
 - ④令和 02 年 07 月開催 於：関東 (中止)
 - ⑤令和 02 年 12 月 06 日日開催 於：近畿 城星学園サンタマリア SS 参加者：09 名
 (新型コロナウイルス感染拡大の影響によりプール管理責任者講習会(1 日目)のみを実施)
- クラブ内事故調査アンケート実施

*** 泳力認定委員会**

(1) 委員会

- 第 1 回委員会 令和 02 年 05 月 14 日開催 於：SC 協事務局 (中止)
- 第 2 回委員会 令和 02 年 10 月 06 日開催 於：オンライン会議
- 第 3 回委員会 令和 03 年 02 月 02 日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

- 泳力認定会および段位の認定を各登録クラブにて開催
- 泳力認定員資格取得講習会及び更新講習会 (全て中止)
- 特別認定の実施
 - ①令和 02 年 10 月 10 日～11 日 第 41 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会
 於：長野運動公園総合運動場総合市民プール アクアウイング (中止)
 - ②令和 02 年 12 月 12 日 第 10 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会
 於：アクアパレットまつやま (中止)
 - ③令和 03 年 03 月 06 日・07 日 第 43 回 JSCA 全国マスターズスイミングフェスティバル
 於：秋葉山公園県民水泳場 (中止)
- 泳力認定事業の啓蒙活動の実施
- 泳力認定事業推進登録クラブ表彰 令和 02 年 06 月 18 日開催
 於：ホテル雅叙園東京 (中止)
- 第 21 回ベストスイマー2020 表彰式典 令和 02 年 06 月 18 日開催
 於：ホテル雅叙園東京 (中止)
- ゴールドマスターズスイマー称号付与事業 令和 02 年 04 月 01 日～令和 03 年 03 月 31 日

* **健康スポーツ医科学委員会**

(1) 委員会

○令和 03 年 01 月 14 日 開催 於：東京 (中止)

(1) 実施事業

○JSCA 電子かわら版 (毎月 10 日・25 日発行)

* **障害者水泳委員会**

(1) 委員会

○第 1 回委員会 令和 02 年 06 月 09 日開催 於：オンライン会議

○臨時委員会 令和 02 年 07 月 30 日開催 於：オンライン会議

○第 2 回委員会 令和 03 年 02 月 09 日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

○第 41 回 JSCA ブロック対抗水泳競技大会マルチクラスレース協力

令和 02 年 10 月 10 日 於：長野県運動公園総合運動場総合市民プール (中止)

○グリコチャレンジスイム 2020 第 10 回 JSCA 全国知的障害者水泳競技大会

令和 02 年 12 月 13 日開催 於：アクアパレットまつやま (中止)

○JSCA 障害者水泳指導者研修会 令和 03 年 03 月 13 日開催 於：オンライン研修会

参加者：09 名

* **経営委員会**

(1) 委員会

○第 1 回委員会 令和 02 年 07 月 07 日開催 於：新大阪ワシントンホテルプラザ

○第 2 回委員会 令和 02 年 08 月 21 日開催 於：J R ホテルクレメント高松

○第 3 回委員会 令和 02 年 11 月 24 日開催 於：J R ホテルクレメント高松 (中止)

(2) 実施事業

○令和 02 年度海外視察セミナー 令和 02 年 10 月 (中止)

○令和 02 年度全国トップマネジメントセミナー 令和 02 年 11 月 25 日

於：J R ホテルクレメント高松 (中止)

* **総務委員会**

(1) 委員会

○第 1 回委員会 令和 02 年 05 月 14 日開催 於：電子メール決議

○第 2 回委員会 令和 03 年 01 月 25 日開催 於：オンライン会議

(2) 実施事業

○主要会議の開催と円滑な運営

○事業報告・収支決算の策定取まとめ

○功労者・優秀コーチ・優良指導者表彰

○SC 協ニュースの発行 第 214 号～219 号 6 部発行

○タイアップポスター実施

令和 02 年 04 月 23 日～05 月 22 日「ムーラン」 (中止)

令和 02 年 05 月 11 日～06 月 10 日「プリキュア」 (中止)

令和 02 年 06 月 01 日～06 月 30 日「ソウルフルワールド」 (中止)

令和 02 年 07 月 13 日～08 月 12 日掲載「人体のサバイバル/がんばれいわ! ロボコン」

令和 02 年 09 月 05 日～10 月 04 日掲載「トロールズ」

令和 02 年 10 月 01 日～10 月 31 日掲載「のりものまんモービルランドのカークン」

令和 02 年 12 月 01 日～12 月 31 日掲載「仮面ライダー ゼロワン・セイバー」

○ホームページリニューアル

* **5 委員会合同会議** （特別会議）

（１）合同会議

○第１回委員長会議 令和 02 年 05 月 20 日開催 於：福岡（中止）

○第２回委員長会議 令和 03 年 01 月 13 日開催 於：東京（中止）

* **組織検討委員会** （特別委員会）

（１）委員会

○第１回委員会 令和 02 年 11 月 12 日開催 於：新大阪ワシントンホテルプラザ

※各種事業の中止は全て新型コロナウイルス感染拡大の影響による。

第10期 収支決算報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から

令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基金収入	(0)	(0)	(0)
② 会費収入	(60,080,000)	(61,000,000)	(-920,000)
正会員会費収入	11,340,000	11,520,000	-180,000
登録クラブ年会費収入	43,040,000	43,480,000	-440,000
賛助会員年会費収入	5,500,000	5,500,000	0
入会金収入	200,000	500,000	-300,000
③ 事業収入	(92,342,216)	(166,937,333)	(-74,595,117)
指導力向上(委)	2,275,495	4,316,148	-2,040,653
事業企画(委)	35,539,160	89,085,078	-53,545,918
安全水泳(委)	252,680	2,285,074	-2,032,394
泳力認定(委)	52,554,881	62,981,283	-10,426,402
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0
障害者水泳(委)	18,000	1,451,590	-1,433,590
経 営(委)	0	2,885,600	-2,885,600
総 務(委)	1,702,000	3,932,560	-2,230,560
その他(委)	0	0	0
④ 負担金収入	(6,204,225)	(5,371,100)	(833,125)
認定登録料	6,204,225	5,371,100	833,125
水泳教師	[4,108,125]	[3,135,000]	[973,125]
水泳インストラクター	[320,000]	[325,000]	[-5,000]
アクアフィットネス	[516,100]	[515,000]	[1,100]
アクアダンス	[70,000]	[210,000]	[-140,000]
メディカルアクア	[130,000]	[175,000]	[-45,000]
安全水泳法	[1,060,000]	[1,011,100]	[48,900]
指導者登録	[0]	[0]	[0]
認定証料	[0]	[0]	[0]
印刷物頒布収入	0	0	0
⑤ 協賛金収入	(1,000,000)	(4,110,000)	(-3,110,000)
⑥ 寄付金収入	(0)	(39,983,999)	(-39,983,999)
⑦ 雑収入	(4,599,070)	(3,221,138)	(1,377,932)
受取利息	6,483	2,754	3,729
SC保険事務費	4,592,587	3,213,948	1,378,639
事務受託料	0	0	0
雑収入	0	4,436	-4,436
経常収益計	164,225,511	280,623,570	-116,398,059

	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費	(101,722,706)	(171,437,355)	(-69,714,649)
交付金	21,500,000	21,700,000	-200,000
指導力向上(委)	6,009,552	6,883,820	-874,268
事業企画(委)	38,159,772	91,469,946	-53,310,174
安全水泳(委)	725,012	3,098,087	-2,373,075
泳力認定(委)	26,078,308	27,436,326	-1,358,018
健康スポーツ医科学(委)	0	28,800	-28,800
障害者水泳(委)	109,988	3,935,375	-3,825,387
経 営(委)	655,525	5,877,613	-5,222,088
総 務(委)	8,344,475	10,685,778	-2,341,303
その他(委)	140,074	321,610	-181,536
特別事業(継1)	0	0	0
特別事業(公1)	0	0	0
② 管理費	(51,365,537)	(58,722,000)	(-7,356,463)
給与・手当	15,284,911	15,136,473	148,438
賞与	4,052,400	3,822,600	229,800
退職金	0	0	0
雑給	1,439,846	1,765,861	-326,015
通勤手当	919,620	914,230	5,390
法定福利費	3,115,414	3,268,829	-153,415
福利厚生費	34,294	35,000	-706
総会費	484,649	1,968,119	-1,483,470
理事会費	1,599,563	5,949,999	-4,350,436
慶弔費	233,000	123,430	109,570
事務用品費	1,217,630	1,673,633	-456,003
旅費交通費	587,504	1,656,995	-1,069,491
賃借料	5,990,400	5,949,125	41,275
システム保守料	1,716,000	1,697,800	18,200
水道光熱費	201,535	191,154	10,381
通信費	4,723,222	4,993,050	-269,828
印刷費	89,815	115,682	-25,867
支払手数料	142,052	229,312	-87,260
会議費	272,990	687,572	-414,582
消耗品費	45,650	218,925	-173,275
SC保険事務費	3,107,563	3,174,561	-66,998
租税公課	70,000	70,000	0
消費税	4,605,700	2,762,800	1,842,900
減価償却費	528,000	1,620,000	-1,092,000
退職給付費用	513,000	315,950	197,050
雑費	390,779	380,900	9,879
経常費用計	153,088,243	230,159,355	-77,071,112
当期経常増減額	11,137,268	50,464,215	-39,326,947
2 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,137,268	50,464,215	-39,326,947
一般正味財産期首残高	155,547,318	105,083,103	50,464,215
一般正味財産期末残高	166,684,586	155,547,318	11,137,268
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	166,684,586	155,547,318	11,137,268

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1流動資産			
現金	839,514	1,262,664	-423,150
普通預金	99,005,537	99,726,332	-720,795
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
貯蔵品	120,000	120,000	0
未収金	1,120,000	150,000	970,000
流動資産計	151,085,051	151,258,996	-173,945
2固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
退職引当預金	2,770,400	2,257,400	513,000
(3)その他の固定資産			
建物附属設備	1	1	0
ソフトウェア	2,112,000	2,640,000	-528,000
電話加入権	240,621	240,621	0
敷金	742,560	742,560	0
その他固定資産計	3,095,182	3,623,182	-528,000
固定資産計	25,865,582	25,880,582	-15,000
資産合計	176,950,633	177,139,578	-188,945
II 負債の部			
1流動負債			
未払金	428,138	2,797,911	-2,369,773
預り金	7,067,509	16,534,949	-9,467,440
仮受金	0	2,000	-2,000
流動負債計	7,495,647	19,334,860	-11,839,213
2固定負債			
退職給付引当金	2,770,400	2,257,400	513,000
固定負債計	2,770,400	2,257,400	513,000
負債合計	10,266,047	21,592,260	-11,326,213
III 正味財産の部			
1指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産へ充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2一般正味財産	166,684,586	155,547,318	11,137,268
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	166,684,586	155,547,318	11,137,268
負債正味財産合計	176,950,633	177,139,578	-188,945

財 産 目 録

令和 3年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1流動資産			
現金	手許有高	839,514	
普通預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	25,655,882	
	三菱UFJ銀行神保町支店	73,073,958	
	商工中金 新宿支店	275,697	
定期預金	商工中金 新宿支店	50,000,000	
貯蔵品	バッチ、ワッペン	120,000	
未収金	IT導入支援補助金	1,120,000	
流動資産計			151,085,051
2固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	商工中金 新宿支店	20,000,000	
(2)特定資産			
退職引当預金	三菱UFJ銀行江戸川橋支店	2,770,400	
(3)その他の固定資産			
建物附属設備		1	
ソフトウェア	泳力システム他	2,112,000	
電話加入権		240,621	
敷金	水道橋西口会館	742,560	
	その他固定資産計	3,095,182	
固定資産計			25,865,582
資産合計			176,950,633
Ⅱ 負債の部			
1流動負債			
未払金	近畿支部立替金	428,138	
預り金	会費	6,860,000	
	源泉税	151,409	
	住民税	56,100	
	流動負債計		7,495,647
2固定負債			
退職給付引当金	職員分	2,770,400	
固定負債計			2,770,400
負債合計			10,266,047
正味財産合計			166,684,586

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載をしている。

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,257,400	513,000	0	0	2,770,400

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

移動平均法による原価法を採用している。

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

退職給付引当金

役員及び職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付要支給額を計上している。

(4)リース取引の処理方法

取得したリース物件の価額に重要性が乏しいため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職引当預金	2,257,400	513,000	0	2,770,400
小計	2,257,400	513,000	0	2,770,400
合計	22,257,400	513,000	0	22,770,400

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、つぎのとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小計	20,000,000	—	(20,000,000)	—
特定資産				
退職引当預金	2,770,400	—	—	(2,770,400)
小計	2,770,400	—	—	(2,770,400)
合計	22,770,400	—	(20,000,000)	(2,770,400)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
附属設備	220,000	219,999	1
ソフトウェア	12,360,000	10,248,000	2,112,000
合 計	12,580,000	10,467,999	2,112,001

5. 関連当事者との取引の内容

該当する取引はない。

収 支 計 算 書

令和 2年4月1日から

令和 3年3月31日まで

(単位:円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	予算執行率
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
② 会費収入	(61,900,000)	(60,080,000)	(1,820,000)	(97.1%)
正会員会費収入	11,600,000	11,340,000	260,000	97.8%
登録クラブ年会費収入	43,200,000	43,040,000	160,000	99.6%
賛助会員年会費収入	6,500,000	5,500,000	1,000,000	84.6%
入会金収入	600,000	200,000	400,000	33.3%
③ 事業収入	(165,205,000)	(92,342,216)	(72,862,784)	(55.9%)
指導力向上(委)	5,885,000	2,275,495	3,609,505	38.7%
事業企画(委)	88,900,000	35,539,160	53,360,840	40.0%
安全水泳(委)	2,175,000	252,680	1,922,320	11.6%
泳力認定(委)	62,935,000	52,554,881	10,380,119	83.5%
健康スポーツ医科学(委)	0	0	0	-
障害者水泳(委)	995,000	18,000	977,000	1.8%
経 営(委)	1,995,000	0	1,995,000	0.0%
総 務(委)	2,320,000	1,702,000	618,000	73.4%
その他(委)	0	0	0	-
④ 負担金収入	(7,350,000)	(6,204,225)	(1,145,775)	84.4%
認定登録料	7,350,000	6,204,225	1,145,775	84.4%
水泳教師	[3,500,000]	[4,108,125]	[-608,125]	117.4%
水泳インストラクター	[600,000]	[320,000]	[280,000]	53.3%
アクアフィットネス	[1,200,000]	[516,100]	[683,900]	43.0%
アクアダンス	[150,000]	[70,000]	[80,000]	46.7%
メディカルアクア	[200,000]	[130,000]	[70,000]	65.0%
安全水泳法	[1,700,000]	[1,060,000]	[640,000]	62.4%
指導者登録	[0]	[0]	[0]	-
認定証料	[0]	[0]	[0]	-
印刷物頒布収入	0	0	0	-
⑤ 協賛金収入	(9,000,000)	(1,000,000)	(8,000,000)	(11.1%)
⑥ 寄付金収入	(0)	(0)	(0)	(-)
⑦ 雑収入	(3,170,000)	(4,599,070)	(-1,429,070)	(145.1%)
受取利息	20,000	6,483	13,517	32.4%
SC保険事務費	3,100,000	4,592,587	-1,492,587	148.1%
事務受託料	0	0	0	-
雑収入	50,000	0	50,000	0.0%
事業活動収入計	246,625,000	164,225,511	82,399,489	66.6%

	予算額	決算額	差異	予算執行率
2事業活動支出				
①事業費支出	(182,383,000)	(101,722,706)	(80,660,294)	(55.8%)
交付金	21,600,000	21,500,000	100,000	99.5%
指導力向上(委)	8,559,000	6,009,552	2,549,448	70.2%
事業企画(委)	93,890,000	38,159,772	55,730,228	40.6%
安全水泳(委)	3,125,000	725,012	2,399,988	23.2%
泳力認定(委)	31,120,000	26,078,308	5,041,692	83.8%
健康スポーツ医科学(委)	1,750,000	0	1,750,000	0.0%
障害者水泳(委)	5,369,000	109,988	5,259,012	2.0%
経営(委)	5,050,000	655,525	4,394,475	13.0%
総務(委)	11,500,000	8,344,475	3,155,525	72.6%
その他(委)	420,000	140,074	279,926	33.4%
②管理費支出	(55,750,000)	(50,324,537)	(5,425,463)	(90.3%)
給与・手当支出	16,500,000	15,284,911	1,215,089	92.6%
賞与支出	3,000,000	4,052,400	-1,052,400	135.1%
退職金支出	0	0	0	-
雑給支出	1,500,000	1,439,846	60,154	96.0%
通勤手当支出	1,000,000	919,620	80,380	92.0%
法定福利費支出	3,200,000	3,115,414	84,586	97.4%
福利厚生費支出	100,000	34,294	65,706	34.3%
総会費支出	2,000,000	484,649	1,515,351	24.2%
理事会費支出	2,500,000	1,599,563	900,437	64.0%
慶弔費支出	500,000	233,000	267,000	46.6%
事務用品費支出	1,500,000	1,217,630	282,370	81.2%
旅費交通費支出	1,550,000	587,504	962,496	37.9%
賃借料支出	7,000,000	5,990,400	1,009,600	85.6%
システム保守料支出	1,700,000	1,716,000	-16,000	100.9%
水道光熱費支出	500,000	201,535	298,465	40.3%
通信費支出	4,500,000	4,723,222	-223,222	105.0%
印刷費支出	500,000	89,815	410,185	18.0%
支払手数料支出	300,000	142,052	157,948	47.4%
会議費支出	800,000	272,990	527,010	34.1%
消耗品費支出	300,000	45,650	254,350	15.2%
SC保険事務費支出	3,100,000	3,107,563	-7,563	100.2%
租税公課支出	0	70,000	-70,000	-
消費税支出	2,700,000	4,605,700	-1,905,700	170.6%
雑費支出	1,000,000	390,779	609,221	39.1%
事業活動支出計	238,133,000	152,047,243	86,085,757	63.8%
事業活動収支差額	8,492,000	12,178,268	-3,686,268	143.4%
Ⅱ投資活動支出				
退職引当預金取崩収入	0	0	0	-
投資活動収入計	0	0	0	-
退職引当預金支出	513,000	513,000	0	100.0%
移転積立預金繰入支出	35,000,000	0	35,000,000	0.0%
投資活動支出計	35,513,000	513,000	35,000,000	1.4%
投資活動収支差額	-35,513,000	-513,000	-35,000,000	1.4%
Ⅲ予備費支出	0	0	0	-
当期収支差額	-27,021,000	11,665,268	-38,686,268	
前期繰越収支差額	90,926,000	131,804,136	-40,878,136	
次期繰越収支差額	63,905,000	143,469,404	-79,564,404	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、貯蔵品を除く流動資産及び流動負債を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目		前期末残高	当期末残高
現	金	1,262,664	839,514
普 通	預 金	99,726,332	99,005,537
定 期	預 金	50,000,000	50,000,000
未	収 金	150,000	1,120,000
	合 計	151,138,996	150,965,051
未	払 金	2,797,911	428,138
預	り 金	16,534,949	7,067,509
仮	受 金	2,000	0
	合 計	19,334,860	7,495,647
次期繰越収支差額		131,804,136	143,469,404

委員会別収支計算書

令和2年 4月 1日～令和 3年 3月31日

(単位:円)

	指導力向上	事業企画	安全水泳	泳力認定	健康スポーツ 医科学	障害者水泳	経 営	総 務	合 計
収入の部									
参加収入	1,850,475	27,157,100	111,870	52,553,704		18,000			81,691,149
広告収入		490,000						1,680,000	2,170,000
教本・指導本	384,520								384,520
プログラム売上		5,686,960							5,686,960
協賛金・助成金		250,000							250,000
記録証・終了証		49,500							49,500
在籍施設認定料	40,500		100,000						140,500
通信記録会		1,840,600							1,840,600
備品販売・貸出			40,810	1,177				22,000	63,987
支部負担金									-
その他		65,000							65,000
収入合計	2,275,495	35,539,160	252,680	52,554,881	0	18,000	0	1,702,000	92,342,216
支出の部									
委員会費	325,840	80,860	500				655,525		1,062,725
会場費	644,111	7,308,345		60,530					8,012,986
会議費	11,189	441,612							452,801
印刷費	648,095	4,072,090	177,650	3,306,930			5,897,100		14,101,865
役務費		8,941,207							8,941,207
表彰費		6,069,031		2,019,592			603,570		8,692,193
通信費	394,340	548,706	398,696	816,866		89,988	1,118,113		3,366,709
旅費宿泊費	188,321	35,870					1,000		225,191
広告料	220,000								220,000
保険料		150,329						167,652	317,981
講師謝金	992,749		76,842			20,000			1,089,591
懇親会費	58,072								58,072
飲食代	52,776								52,776
消耗品		594,078	12,144						606,222
雑費・その他	17,175	175,448							192,623
参加賞		681,043		396,000					1,077,043
コンピューター支援等		385,000							385,000
大会種目料返金									-
作成費	2,372,404	46,200	59,180	5,216,200			530,000		8,223,984
退職者記念品代									-
公式グッズ仕入れ費									-
教本等仕入れ費	84,480								84,480
監視・警備員費									-
登記・証明・出願費用							27,040		27,040
運営委託・総務費		2,350,566							2,350,566
支部協力金		6,279,387		14,262,190					20,541,577
支出合計	6,009,552	38,159,772	725,012	26,078,308	-	109,988	655,525	8,344,475	80,082,632
収支差額	-3,734,057	-2,620,612	-472,332	26,476,573	0	-91,988	-655,525	-6,642,475	12,259,584
本部交付金	2,674,000		950,000		1,750,000	3,374,000	1,055,000	9,180,000	18,983,000
本部助成金		6,000,000				1,000,000	2,000,000		9,000,000
差し引き額	-1,060,057	3,379,388	477,668	26,476,573	0	4,282,012	2,399,475	2,537,525	38,492,584

監 査 報 告 書

令和3年5月14日

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

会 長 岡 本 實 殿

一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

監 事 田中 聰 積

監 事 西川 良 和



私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- 1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討しました。
- 2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査の結果

- 1) 貸借対照表、正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- 2) 事業報告書及びその附属明細書の内容は、当法人の状況を正しく示していると認めます。
- 3) 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

独立監査人の監査報告書

令和3年5月14日

一般社団法人日本スイミングクラブ協会
理 事 会 御 中

監査法人 不二会計事務所

東京都台東区

代 表 社 員
業務執行社員 公認会計士

水 谷 章 

監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本スイミングクラブ協会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上